

# 広川町立図書館へ行こう!

〒0943-32-1163 広川町立図書館 ☎ 0943-32-1163



## ■ 今月のおすすめの本



サガレン  
梶久美子 / 著  
KADOKAWA



これならできる、  
こどもキッチン  
石井由紀子 / 著  
太田次郎社エディタス



[そろそろ、お酒やめようかな]  
と思ったときに読む本  
垣淵洋一 / 著  
青春出版社



木の家を楽しむ  
KINOIESEVEN / 編著  
ユウブックス



日本プロレス 70年史  
昭和編  
週刊プロレス / 編  
ベースボール・マガジン社



じゃがい  
井上宮 / 著  
光文社



14歳からの精神医学  
宮田雄吾 / 著  
日本評論社



やっこさんのけんか  
殿内真帆 / 作・絵  
フレール館



プラスチックのうみ  
ミシェル・ロード / 作  
小学館



フルーツふれんず  
スイカちゃん  
村上しいこ / 作  
あかね書房

## ■ プチ講座

### 「本の感想を絵で描こう ~読書感想画教室~」

西日本読書感想画コンクールの指定図書から1冊を選び、感想画を描きましょう! 完成した作品は後日、所属校から感想画コンクールへ出品することができます。

- 日時 8月21日(土)、13:30~15:30(13:00開場)
  - 場所 町民交流センター「いこっと」2階大研修室
  - 対象 町内在住の小学3~6年生
  - 定員 先着15人
- ※事前に電話または図書館カウンターでお申し込みください。

定員に満たない場合は、町外在住の児童も受け付けます。

## ■ 8月のおはなし会 [場所・読み手]

- 7日(日) 10:30~11:00 児童向け [お話しの森・きらら]
- 11日(木) 10:30~11:00 乳幼児向け [かっちんこ]  
[ハグハグ・絵本コンシェルジュ]
- 22日(日) 10:30~11:00 児童向け  
[お話しの森・たまてばこ]

## 町立図書館ここがすごい!

### vol.13 お家でパネルシアター

町立図書館の良さをお伝えします

外に出られない日は、お家でパネルシアターを楽しみませんか? 広川町立図書館では、パネルシアターのセットを貸し出しています。パネルを立て、お話ししながら登場人物を動かせば、お家の中が小さな劇場に! エプロンシアターは、身につけたエプロンを使ったもっと簡単なミニミニ劇場です。きっとお子さまも大喜び! パネルシアター30タイトル以上、エプロンシアター20タイトル以上、いつでも貸し出し可能です。使い方がわからないときは、お気軽に司書へおたずねください。

## ■ 8月の休館日

- 2日(月)・5日(木)・10日(火)・16日(月)・23日(月)・30日(月)
- 毎週(月)・第1(木)が休館、(月)が祝祭日の場合は翌日以降の直近の平日が休館

# よかよかだより

【紙面版】ボランティア出前講座

## ボランティアのいま① 災害支援編

皆さんは「ボランティア」と聞いてどのようなことを想像しますか？ ボランティアとは、自ら進んで人や社会のために活動すること（人）です。その活動は、社会の状況や時代の変化に合わせて、さまざまな分野に広がりを見せています。

今月号から掲載する【紙面版】ボランティア出前講座では、社会や地域の課題解決に向けて取り組むボランティアの「いま」にスポットをあて、実際に取り組まれている事例から、ボランティアの多様性について考えます。今回は、被災地で地域や人々を支援する「災害支援のいま」について考えます。

### 災害支援と災害ボランティア

近年、毎年のように各地で地震や台風、豪雨による自然災害が発生しています。発災後は、被災者

の暮らしの復旧・復興を願い、全国各地から被災地へ大勢のボランティアが駆けつけています。

災害支援といっても、被災者宅の床下の泥出しや、がれきなどの撤去、炊き出し支援、避難所や仮設住宅での支援など、さまざまです。現地に行けなくても、募金や寄付をしたり、被災地で生産された物を購入したりするなど、自分ができる方法で被災地を支えているとする一人ひとりの行動も、被災地の復興につながっています。

### コロナ禍での災害ボランティア

記憶に新しい「令和2年7月豪雨」は、コロナ禍での大規模災害となりました。筑後地方も河川の氾濫などにより大きな被害を受け、久留米市・大牟田市の社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターが設置されました。コロナ禍

で広域からのボランティア受け入れが困難な中、センターでは災害ボランティアの事前登録やICTを活用した受け付けなどの対策を講じ、感染拡大防止に配慮した災害支援が進められました。

いつ、どこで災害が発生してもおかしくない昨今の状況下で「どうしたら迅速に支援を届けられるのか」「どうしたら支援を受け入れられるのか」、コロナ禍である今だからこそ考えておく必要があるのではないのでしょうか。防災・減災につながる備えとして、日ごろから、身近な地域で助け合えるネットワークをつくっておくことや、過去の災害に学び、私たち一人ひとりが防災・減災力を高めていくことが、これからの「災害に強いまちづくり」につながるのではないかと考えます。

### 災害に強いまちづくりをめざして ～災害ボランティア事前登録制度～

もしもの災害に備え、町民同士が助け合えるよう、広川町ボランティア活動センターでは、8月から「災害ボランティア事前登録」の受け付けを開始します。登録者には、当センターから災害ボランティア活動に関する講座や研修などの情報を提供します。もしもの

災害が発生したときには、ボランティア活動へのご協力をお願いする予定です。登録を希望する人は当センターに来館いただくか、広川町社会福祉協議会のホームページにある登録申請フォームから申し込みください。

広川町  
社会福祉協議会  
ホームページ  
QRコード



▲ 災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子（令和元年6月）

ボランティア活動センター  
「よかよか」（はなやぎの里2階）  
平日8時30分～17時15分  
☎ 0943-327073  
FAX 0943-327074